

第16回 高校生議会

昨年12月17日(土)、市内5つの高等学校と富士宮高等専修学校から選出された17人の高校生議員が、普段感じていることや疑問に思うことを、市議会本会議場で市当局に投げかけました。

高校生議員は、12分の持ち時間を活用し、議論を繰り広げました。

高校生議会の様子は、市公式ウェブサイトで見ることができます。

HP [トップページ](#)>[富士宮市について](#)>[広聴・広報](#)>[広聴](#)>[高校生議会](#)



問 広報課 ☎22-1119



富士宮高等学校2年
酒井 萌衣 議員



富士宮高等学校2年
勝亦 海吏 議員



富士宮高等学校1年
新井 琉杏 議員

市のSNSの活用方法

市のSNSは、若者の目を引く情報ではないと思う。

映画やドラマ、CMなどの撮影現場を、若者の中で流行している「聖地巡礼」の一つとして、ハッシュタグなどをつけてSNSで発信してはどうか。

若者の目を引くSNSにするために、市役所と高校生が連携する運営委員会を立ち上げ、若い世代の意見を取り入れてはどうか。

E-BIKEなどの活用

市では、E-BIKEを使って観光施設や名所を巡る活動をPRしたり、E-BIKEの貸し出しを行っている。

さらに活動を進めるため、街中に自転車工具やシャワールーム、ロッカー、メンテナンススペースなどを備えた「サイクルステーション」を設け、E-BIKEの魅力を伝えたり交流できる場にしてはどうか。

精神病介護者のメンタルケア支援の仕組み作り

うつ病患者や介護者への支援が不足しているように思う。

精神的な問題を抱える人たちに柔軟に対応でき、患者と介護者の双方の社会復帰につなげるため、「介護疲れの人が突発的に逃げ込めるセカンドハウスの設置」「介護者が交流できる場を設けること」「支援情報を積極的に発信すること」を行ってはどうか。



富士宮東高等学校2年
望月 愛美 議員

タバコのポイ捨てを減らす対策

ポイ捨てされたタバコの吸い殻をよく見かけるが、タバコの吸い殻は、景観を損なうだけでなく不快である。タバコのポイ捨てを減らすことは、SDGsの目標である「住み続けられるまちづくり」にもつながると思う。

路上喫煙に対する条例を強化したり、喫煙所を増設してはどうか。



富士宮東高等学校2年
渡邊 薫海 議員

災害時のペットの避難

災害時のペットの避難について周知が不足していると思う。

県が作成した避難所のペット飼育管理ガイドラインには「避難所のペットスペースでは飼い主が全責任を持ってペットを飼育管理すること」が書かれている。

ペットとその家族が安心して避難できるように、ペットの避難について詳しく記載した冊子を作り周知してはどうか。



富士宮東高等学校1年
坂上 大高 議員

障がい者と関わる取り組み

市では、健常者と障がい者が触れ合うイベントなどの周知が不足していると思う。

障がい者と関わる機会が増えることで、お互いの考えを「知る」「気づく」「理解する」ことができると考えるため、市が主体となってより大きな規模で、またさまざま場所でイベントを開催してはどうか。

また、中学生や高校生にも運営に参加してもらってはどうか。



富士宮北高等学校2年
田中 沙雪 議員

イメージキャラクター さくやちゃん

市のイメージキャラクター「さくやちゃん」を多くの人に知ってもらい、地元愛を強めてもらうため、季節に合わせた「さくやちゃん」の衣装を学生がデザインするコンテストを開催してはどうか。

また、最優秀作品に選ばれたデザインの衣装を作り、「さくやちゃん」が着たり、他の作品のデザインを市役所などで紹介してはどうか。



富士宮北高等学校2年
吉野 舞 議員

看護を学べる学校

看護を学ぶには、他市の学校に通うことになり負担が大きい。

市の看護師不足の緩和や地域のにぎわいにもつながると考えるため、休校している学校や使用していない校舎を看護学校に造り変えてはどうか。市で造ることが難しい場合は、学校法人を募ることはできないか。



富士宮北高等学校1年
杉山 栞奈 議員

市歌を広める活動

富士宮高校会議所の活動で、先輩が市歌を演奏した際、歌える人がほとんどいなかった。市歌を知らない人が多いのは悲しいことだと思う。幼い子からお年寄りまで、誰もが歌うことができる市歌になってほしい。

市歌に愛着を持つことは市に愛着を持つことにつながるため、同報無線で放送したり、学校で市歌を練習してはどうか。



富士宮西高等学校2年
深澤 亜希 議員

市内企業への関心を高める方法

市内には魅力のある企業が多いが、生徒が市内の企業のことを知る機会が少ない。就職希望者の生徒の中には、情報が少なく困っている人もいます。

多くの生徒が、市内の企業に関心を持てるよう、全生徒に企業紹介ガイドブックを配布してはどうか。



富士宮西高等学校2年
遠藤 莉央 議員

市立病院へのアプリ導入

地域課題の解決策を探る探求活動の中で、市立病院の待ち時間が長いことに気付いた。友人も市立病院の待ち時間が長いと感じている。

待ち時間の表示や診察料の支払い、処方箋の発行ができるアプリを開発し、導入してはどうか。



富士宮西高等学校1年
渡邊 任ノ輔 議員

障がいを理解する講座

クラスの友人が「障がい者の手助けの方法がわからない」と話していた。障がい者の困りごとや、悩みを解決する「術」を学生が身に付け、助け方を知る機会が必要だと思う。

学生が、障がい者サポートに関わる職業に就くきっかけにもなるよう、学校で障がいを学ぶ時間を設け、さまざまな障がいのある人を講師に招いてはどうか。



富士宮高等専修学校2年
佐野 陽哉 議員

高校生が自治会の運営に携わること

私の住む地区は、子ども会活動が休止している。地域コミュニティが機能しない状況は、子ども会や自治会の存続の危機であるが、近年は、自治会役員の負担が大きく成り手がいないと聞く。

学生時代から地域の活動に参加することは、地域愛の醸成や社会勉強にもつながるため、高校生が自治会の運営に携われるようにしてはどうか。



富士宮高等専修学校3年
菅谷 頼直 議員

ひとり親世帯の支援

離婚後も共に子どもを育てる責任があるのに、養育費の取り決めがされていないことも多く、ひとり親世帯の生活苦の原因の一つとなっている。

市が養育費の取り決めをサポートしたり、不払いとなったときは市が立て替えた上で督促することはできないか。

また、児童扶養手当の支給を毎月に変更してはどうか。



星陵高等学校2年
深澤 諒士 議員

富士宮ブランドの普及

市には「富士宮市フードバレー推奨農産物」があるが、認定マーク付きの野菜を見たことがない。認定を受けた野菜の価値が伝わっていないため、認定への関心が薄れ特別であるということが認識されていない。

認定の価値が高まれば、認定野菜に付加価値が付き、生産する側の意欲にもつながるため、市長によるトップセールスなど積極的なPRを行ってはどうか。



星陵高等学校2年
手塚裕美子
副議長

街灯のデザイン

市内には、デザインマンホールや富士登山で使う金剛杖の形をしたLEDの街灯がある。

富士山のあるまち富士宮をPRするため、さまざまな季節の富士山をデザインした富士山街灯を設置してはどうか。



星陵高等学校2年
三澤 實理
議長

交通事故を減らす対策

登下校中や放課後に、小学生の事故が多いと聞いた。滋賀県大津市で起きた事故の後、市は保育園児などの散歩道の安全点検を行っている。

小学生や先生が「小学生が危険だと感じる場所」、近所に住む人が「小学生の飛び出しが危険だと感じる場所」を確認し、対策してはどうか。

危険が多い場所は、警察とも協力して対策できないか。

令和3年度の高校生議会で10の提案が実現しました

星陵高校 齋藤菜月さん

提案 教師へのICT教育の研修や生徒へのSNS利用の危険性、肖像権などを指導する講座を行ってはどうか。

成果 ネットリテラシーや情報モラルの指導に関するICT研修会を行ったほか、情報モラル教材を追加導入し指導を進めています。

富岳館高校 板倉穂伽さん

提案 子どもの頃からごみの分別を意識付けるよう、小中学校でごみの分別に関する講座を行ってはどうか。

成果 4つの小学校で講座を実施しました。今後も、ごみ分別の講座や捨て方を周知します。

富岳館高校 柏木夢咲さん

提案 難聴者とのコミュニケーションの仕方を理解するため、小中学生が手話に触れる機会を増やしてはどうか。

成果 4月から毎月、広報ふじのみやで手話を紹介しているほか、5つの小中学校で手話講座などの福祉教育を行いました。

富士宮東高校 加藤穂乃さん

提案 SDGsの認知度が低いため学生を対象としたポスターコンテストを開催し、受賞者のポスターを街中に貼ってはどうか。

成果 小中学生の夏休みの課題として「ポスターコンテスト」を実施したところ、624点の応募がありました。最優秀賞などは、イベントなどで披露します。

富士宮東高校 片岡祐貴さん

提案 市の公式SNSは、内容が固く魅力が薄いため、学生をボランティアとして募集し、投稿をお願いしてはどうか。

成果 富士宮東高の生徒に、若者向けの市PR動画の作成を依頼し、完成したため、市公式YouTubeチャンネルで公開しました。今後も、市のPRに活用します。



富士宮北高校 井上七海さん

提案 外見からはわからない障がいのある人のために、新たなマークを作り配布してはどうか。

成果 外見からは分からないが、援助や配慮が必要なことを周囲に知らせる「ヘルプマーク」を広報ふじのみやで紹介したほか、福祉大会で啓発したり担当課窓口で掲示しています。

富士宮北高校 望月弥咲さん

提案 デジタル化が進み機器の操作を難しいと感じる人がいるため、高校生が機器の操作を教えてはどうか。

成果 富士宮北高の生徒がマイナンバーカードの申請方法などについて学び、デジタル機器の操作が難しい人に教える活動を行いました。

富士宮高等専修学校 芦沢海斗さん

提案 西富士道路の渋滞緩和だけでなく、物流の発展や観光客誘致にもつながるようインターチェンジを作り、国道469号に接続する新道路を建設してはどうか。

成果 渋滞解消や経済の発展などのため、国土交通省や財務省に新バイパスの建設促進を要望しました。

富士宮高等専修学校 村松まり子さん

提案 市民の健康増進や市外からの観光客を増やすため、おすすめウォーキングコース10選を設定してはどうか。

成果 ウォーキングコースを紹介している冊子と提案されたコースを融合できるか検討したほか、今後ウォーキングと健康の効果を周知します。

富士宮西高校 鈴木直斗さん

提案 家の近所に、見通しが悪く事故の多い交差点がある。目の錯覚を利用し凸凹があるように見える路面塗装「イメージハンプ」を設置してはどうか。

成果 交差点に「イメージハンプ」を設置したところ、事故件数の減少につながりました。